

○千葉県北中部を対象としたパネル調査プロジェクトの概要

本プロジェクトは、千葉県北中部にお住まいの有権者を対象とした社会調査のプロジェクトです。2022年時点で18歳～70歳までの方に毎年9月頃に調査にご協力いただき、人々の政治意識やライフスタイルの実態を明らかにすることを目的としています。このように同じ方に複数回ご協力いただく調査をパネル調査といい、1回の調査では把握することができない、人々の考え方や生活の「変化」を捉えることができます¹。

2022年には1,484名の方に分析に使用できるご回答をいただきました（第1回調査）。2023年には第1回調査にご協力いただいた方に再調査を依頼し、1,148名のご回答をいただきました（第2回調査）。さらに2024年には第2回調査にご協力いただいた方に再調査を依頼し、1,029名のご回答をいただきました（第3回調査）。2025年9月に第4回調査を実施しますが、これが本パネル調査プロジェクトの最後のお願いになります。

○第1回調査にみる「ウィズコロナ」と在宅勤務

第1回調査を実施した2022年9月は、政府が2019年末から流行した新型コロナウイルス感染症と社会経済活動の両立を図る「ウィズコロナ（Withコロナ）」に向けた政策を示した時期でした²。新型コロナウイルス感染症は、社会に多くの変化をもたらしたと言われていますが、その1つに働きかたの変化があります。リモートワークやテレワークといった在宅勤務という会社に出勤せずに自宅で働く働き方に注目が集まりました。

本プロジェクトの2022年調査では、回答者の約70%が会社に雇用されている従業員（正社員、パート・アルバイト、派遣社員など）でした。そして従業員全体で、「(持ち帰り残業以外で)自宅で働くことがある」を選択した人は10人に1人ほどでした（図1）。この数字を見て、当時、在宅勤務のような働き方は意外と少なかったんだ！と驚かれる方もいるかもしれません（学生の多くも驚いていました）³。ものづくりや対人サービスなど、自宅ではできない仕事が社会にはたくさんあることを、改めて社会調査は教えてくれます。

○在宅勤務とワークライフバランス満足度について⁴

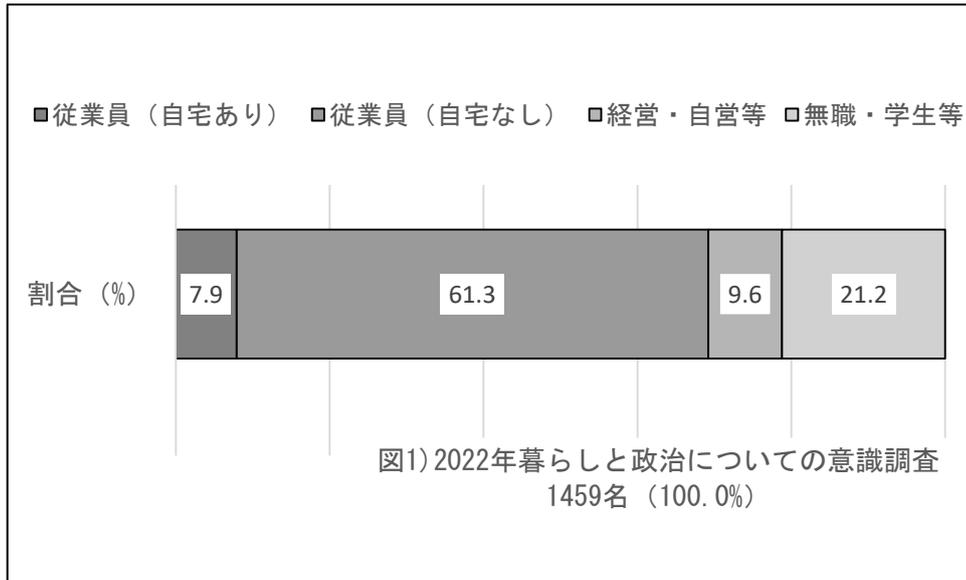
新型コロナウイルス感染症以降の在宅勤務は人々にどのような影響を与えたのでしょうか。テレワークで仕事と私生活のバランスが「私生活重視に」なり「心にゆとり」ができ

¹ 本プロジェクトは、千葉大学大学院人文科学研究院研究倫理審査委員会の倫理審査を経て実施しています。本プロジェクトは、JSPS 科研費 22H00901, 22K01875 の助成を受けたものです。

² 新型コロナウイルス感染症対策本部（当時）「With コロナに向けた政策の考え方」（2022年9月8日）

³ 前年にあたる2021年10月に実施された総務省「社会生活基本調査」でも、平日に仕事があった有業者にしめるテレワーク（在宅勤務）をしていた人は6.7%でした（総務省統計局2022年10月24日「統計 Today No.188」）。

⁴ この節は、千葉大学社会学専修の卒業生である新井淳聖さん（2024年3月卒業）の報告書レポートをもとに吉岡洋介が再分析し、研究成果レポートとして執筆したものです。

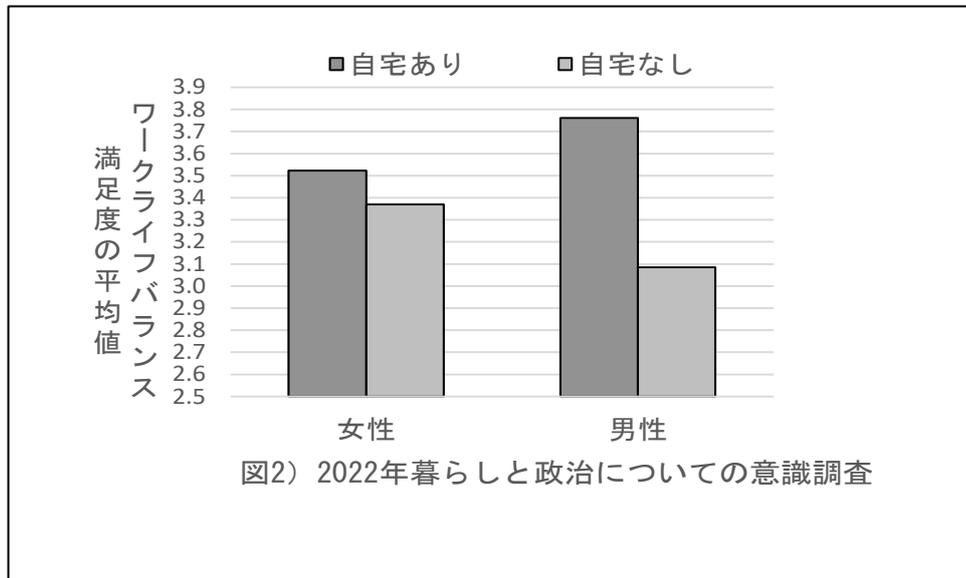


た方も多いようです⁵

第1回の調査データから、自宅仕事をするところのある従業員とそうでない従業員のワークライフバランス満足度を男女別に比べてみました（図2）。図中の女性では自宅仕事があると回答した従業員は44名、そうでない従業員は465名でした。

男性では自宅仕事があると回答した従業員は67名、そうでない従業員は410名でした。ワークライフバランス満足度は「生活と仕事のバランス（時間配分）」についての満足度を質問したもので、点数が高いほど満足していることを意味します。

図を見ると、男女とも、自宅仕事のあるグループの満足度が高いのですが、自宅仕事のない層との差は男性でより顕著でした。多変量解析という方法で実際の労働時間などの条件を揃えても、自宅仕事の有無は女性よりも男性の満足度に大きく関係していることがわかりました⁶。



新型コロナウイルス感染症が社会の変化に及ぼした影響は様々ですが、注目されてきた在宅勤務という働き方は、男女で異なる影響をもつことが示唆されます。

文責・吉岡洋介
2025年9月4日

⁵ 朝日新聞（夕刊）2021年1月16日『「通勤不要、心にゆとり」6割 テレワーク経験、1000人調査【大阪】』

⁶ 年齢、週当たり労働時間、雇用形態（正社員、パート、派遣社員など）、収入、15歳以下の子どもの有無といった他の条件の影響を取り除いても、グループごとの満足度の差は女性よりも男性でより顕著であることがわかりました。